

Prevalence and prognostic implications of malnutrition as defined by GLIM criteria in elderly patients with heart failure

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2022-06-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 廣瀬, 丞 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002860

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2573 号

Prevalence and prognostic implications of malnutrition as defined by GLIM criteria in elderly patients with heart failure

高齢心不全患者における GLIM 基準により定義された低栄養の有病率と予後への影響

廣瀬 丞 (ひろせ すすむ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、世界的に臨床で成人の低栄養を診断するためのコンセンサスとして提案されたグローバル・リーダーシップ・イニシアティブ (GLIM) 基準によって定義された低栄養の有病率を、高齢心不全患者に対して初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。また、高齢心不全患者において GLIM 基準により低栄養を診断することにより、既存の予後予測因子に付加的な予後予測能の上昇が得られる事を示した。

低栄養は入院患者の入院期間の延長や死亡率と関連しており、患者の栄養状態を評価するためのツールがいくつか開発されている。しかしながら、現状では低栄養の診断においてコンセンサスが得られた共通の基準はない。

本論文では、高齢心不全患者において、GLIM 基準によって定義された低栄養の有病率およびその予後との関係性を評価したのみならず、既存の低栄養の定義として頻用されている高齢者栄養リスク指数 (GNRI) で定義された低栄養の診断と比較検討する事により、新たに提案された GLIM 基準によって低栄養を診断する事の臨床的意義をより明確にしている。

低栄養が高齢心不全患者において少なくない患者に存在している事、また予後不良因子である事は多くの先行研究にて示されてきたにもかかわらず、具体的なその介入に関する研究が進まなかった一因は、共通で用いられる定義が存在しなかった事にある。本論文の研究結果は高齢心不全患者において GLIM 基準に基づき低栄養を定義する事の重要性そして有用性を明確に示しており、本分野の今後の研究促進に資するものと思われる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。